

おかげさん

74号

真宗大谷派
高徳寺通信

2016年春号



三宝とは

は、何をもってか、在れるを直さん。
とあります。現代のことばになおすと

“じから三宝を敬いなさい。三宝とは。

仏宝（釋尊）・法宝（釋尊が説いた教え）。

僧宝（サンガ）仏法を依りどころとする仲間、

聖徳太子が制定された『十七条憲法』の第二条（真宗聖典 P963）には

二つに曰ゆく、篤く三宝を

敬え。三宝とは仏・法・僧なり。

すなむち四生の終わりの帰

万の國の極めの宗なり。何の

世、何の人か、この法を貴びず

あらん。人はなはだ惡しきも

の鮮なし。よく教づるとときは從

う。其れ三宝に帰りまつうす

の分類 ↓ 胎生（人類・獸類）・卵生（鳥類）
湿生（魚類・両生類）・化生（天人や地獄の鬼）
のこと）の帰するところ、すべての國の依りどころ
である。いかなる時と場に生きる、いかなる
人であろうとも、こゝの真理を貴ばね
ものはない。人間には極悪のものはめつ
たにいない。丁寧に教えれば真理に従
うものである。三宝を依りどころとしな
ければ、他に何によつて我執にとらわれ

た人間の枉った（やがんだ）生き方を直すことができようか。どうことになりましようか。

日本に仏教の礎を築いた聖徳太子（594～622年）は、いかなる時と場に生きる、いかなる人であろうとも、仏教の視点から、自らが生きる世と自らの生き方を見つめ直していくことが何よりも大切であると説かれました。人間の価値観や常識を根底から問い直す視点と、生きる道を明うかにする確かな根拠を仏教に見出され、人間とは何かとどうことを問しながら生き抜かれた方でした。親鸞聖人は聖徳太子に、仏教を依りどころとして生きる人間の具体的な姿を仰いでいたのです。親鸞聖人は聖徳太子の生

涯を讃える、75首から成る「皇太子聖徳奉讃」という和讃（七五調の口ずさみやす）言葉で表現された和語による偈をお作りになっています。その中に聖徳太子の十七条憲法の第二条のおこころ通りのものがあります。

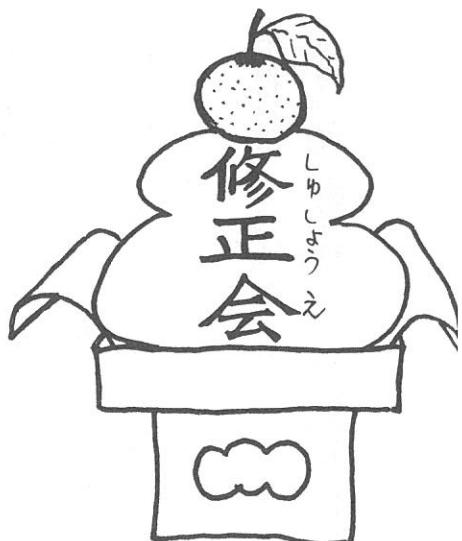
「いづれのいづれのひとか帰せざらむ
三宝によりまつらば、いかでかこのよの
ひとびとのまがれることをたださまし

現代のことばになおすと

“どのよくな世の中に生きる、どのよくな人であっても、三宝に帰依せずに生きることはできない。三宝を依りどころとしなければ、どうしてこの世を生きる人間の枉った生き方を直すことができるよいか”……となります。

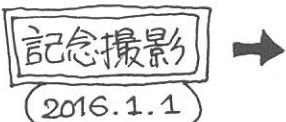
“枉っている”とはこれっぽっちも思っていいな、煩惱（ぼんのう）既定の凡夫である我々人間には、仏・法・僧の『三宝』は、そのことを気づかせてくださる鏡なのです。なぜ“でしょうか。春の彼岸にあらためて聖徳太子のおこぼれを味わってみたいと思ひます。

2016年1月1日(金)の10時より高徳寺の本堂において、修正会が勤まりました。今年も有縁の方と一緒に親鸞聖人が遺された讃偈と正信偈ながらに同朋奉詠をお勤めすることが出来ました。本当に有ること難しおかげさんだと思っております。お勤めのあとのお文拜読と住職によるお話の後は、お参りされた皆さんで“茶話会”を味わいました。お正月は高徳寺に来ました。



の修正会で集合しようと。とこうご門徒一家もおうれて本堂は賑やかな再会の場にもなっています。新しい年が明けて、阿弥陀さんからかけられた願いを尋ねていく歩みが始まります。南無阿弥陀佛

◆お勤めが始まる
前にご本尊にお
参りをします…。



来年も1月1日の
10時より勤まります。
お誘い合わせの上
お参りください。
お待ちしております！



*13回 高徳寺旅行会

『新緑の福岡^{博朋} & 佐賀^{柳川 唐津 呼子}

を味めう旅』

2016年 5月23日(月)~25日(水)

九州の台所、博多・柳川・唐津をゆっくりと味わってみたいと思います。柳川といえば…“うなぎのせ白蒸し”と“どんこ舟のお塩めぐり”。そして、“焼きもの作り”にチャレンジ！博多で美味しいものに舌鼓を打ち、淨慶寺さんにお参りしたのち、唐津へと移動。呼子まで足をのばして、玄海灘の荒波に浸蝕されて出来た“ビッ釜”を海から散策して、“活け”を堪能したいと思います。今年も住職が真心を込めてご案内いたしますので、お説き合わせの上、ご参加くださいませ♪

*お申し込み
は

4月15日(金)

までに申し込み用紙
にご記入の上、住職
までお願いいたします。

御本尊還座式

3/31(木)

ならびに 春の法要 4/1(金)~ 3(日) ご案内

京都の

東本願寺にて勤まります。

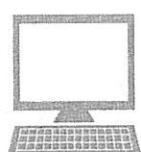


御本尊動座式 (2011年11月29日)

阿弥陀堂から御影堂に御本尊が移動されます。
3月31日は阿弥陀堂にお還りになります。

◆ 3月31日(木) 13時半より、阿弥陀堂の御修復完了とともに、御影堂の九字之間に安置され、御本尊・阿弥陀如来を阿弥陀堂に還座する「御本尊還座式」が執り行なれます。阿弥陀様が移動されることには、一生に一度あるかないかといふくらい稀なことです。是非ご参詣ください。

◆ 4月1日(金)から(3日間)の「春の法要」は4年ぶりの両堂(御影堂と阿弥陀堂)での法要となり、1日は「阿弥陀堂御修復完了奉告法要・兼師徳奉讃法要」(10時から)ならびに「親鸞聖人御誕生会」(音楽法要・14時から)が勤まります。2日(土)は「全戦没者追弔法会」、3日(日)は「相続講員物故者追弔法会・追弔式受式物故者追弔会」が勤まります。



還座式インターネット中継

当日は宗派ホームページで還座式の様子を同時中継します。

ぜひご覧ください!

■真宗大谷派(東本願寺)ホームページ
<http://www.higashihonganji.or.jp/>



* お参りに行けない方はインターネットで!

春彼岸会 ↗3/17(木)～23(水)

3月20日(日) 11:30~ 本堂にて
『永代経』

永代経とは…永代に渡ってお経を

いたたくという意味で、このご法要を通じて代々に渡って伝承られてきた“お念佛”的いわれを深くたずね、仏法にふれていたたくことを願いとした法要です。

どうぞお参りになれますので
本堂にお上がりください。

のじ法要が勤まります。

新井白石記念ホール

3/20(日) & 21(月)

お休み処・お待ち合せ
場所となります。

ご利用ください♪

お磨き奉仕 御礼

2015年12月27日(日)

石井弘芳さん
石井玉枝さん
伊藤隆介さん
井上美津子さん
梅田幸紀さん
奥野登子さん
奥村博さん
海東雅子さん
片桐康利さん
河津三和子さん
児玉金之助さん
清水かづゑさん
清水和美さん
菅原悟さん
菅原千恵子さん
杉村健一さん
崇島暁美さん

おかげで
道具が
じかせかに
せりました

終了後、お寺で“望年会”を開きました!

カンパ

御札

磯村貴子

神野くらさん
朝倉俊さん
永川淳子さん

応援してくださいまして
有り難うございます。

今年の2月から高徳寺の前の早稲田通りに慢性的な渋滞が起るようになった。すぐそばの商店街の出入り口の

信号機のシステムが変更されたのが原因である。自動車による歩行者の巻き込み事故を防止する目的があ

るのだろう。しかし、この変更によって自動車が通過出来る時間が短くなったのに加えて、歩行

者が渡れる時間も“びっくりほん”やくうい、短くなってしまったのだ!! 寝耳に水……。

あまりの生態系の変化に地元

の駐在さんに相談すると、

駐在さんもこの変更を知ら

なかつた。システム変更に

は多額の税金が投入され

るので、一度設置されたもの

はなかなか元の状態に戻っ

たりはしないのだそうだ。

私以外にもかなり沢山の人が

この変更には無理があると指

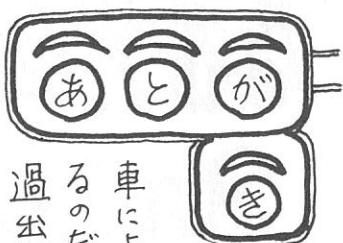
摘していろいろ。事故防止

の策を講じることには大賛成だが、

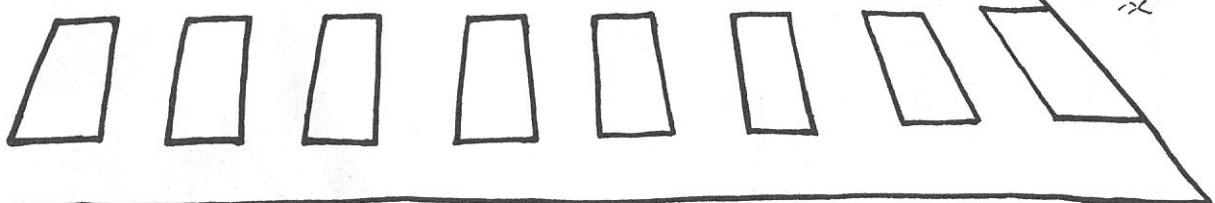
やり方を誤るととんでもないことになる。なぜ変

更する前に、地元の住民や駐在さんに意見を求

めなかったのだろうか。東京都には「見直し」の要望を伝えたもの、取り上げてもらえるかも分からいそうだ。彼岸には自動車でお参りに来られる方が大勢おられるので、色々な意味で心配は増すばかりである……。釋義祐



法然上人
往生す



発行日 2016.3.17

T164-0002

発行 真宗大谷派 高徳寺

東京都中野区上高田1-2-9

編集 住職 新井義雄

☎ 03-3368-6947

FAX 03-3362-8019

表紙の絵：“阿弥陀堂と京都タワーと桜”

・印刷御礼…鮮明堂印刷(株)/藤井清三様

法語『愚者にせりて往生す』… 法然上人のことば（末燈釈/真宗聖典P.603）